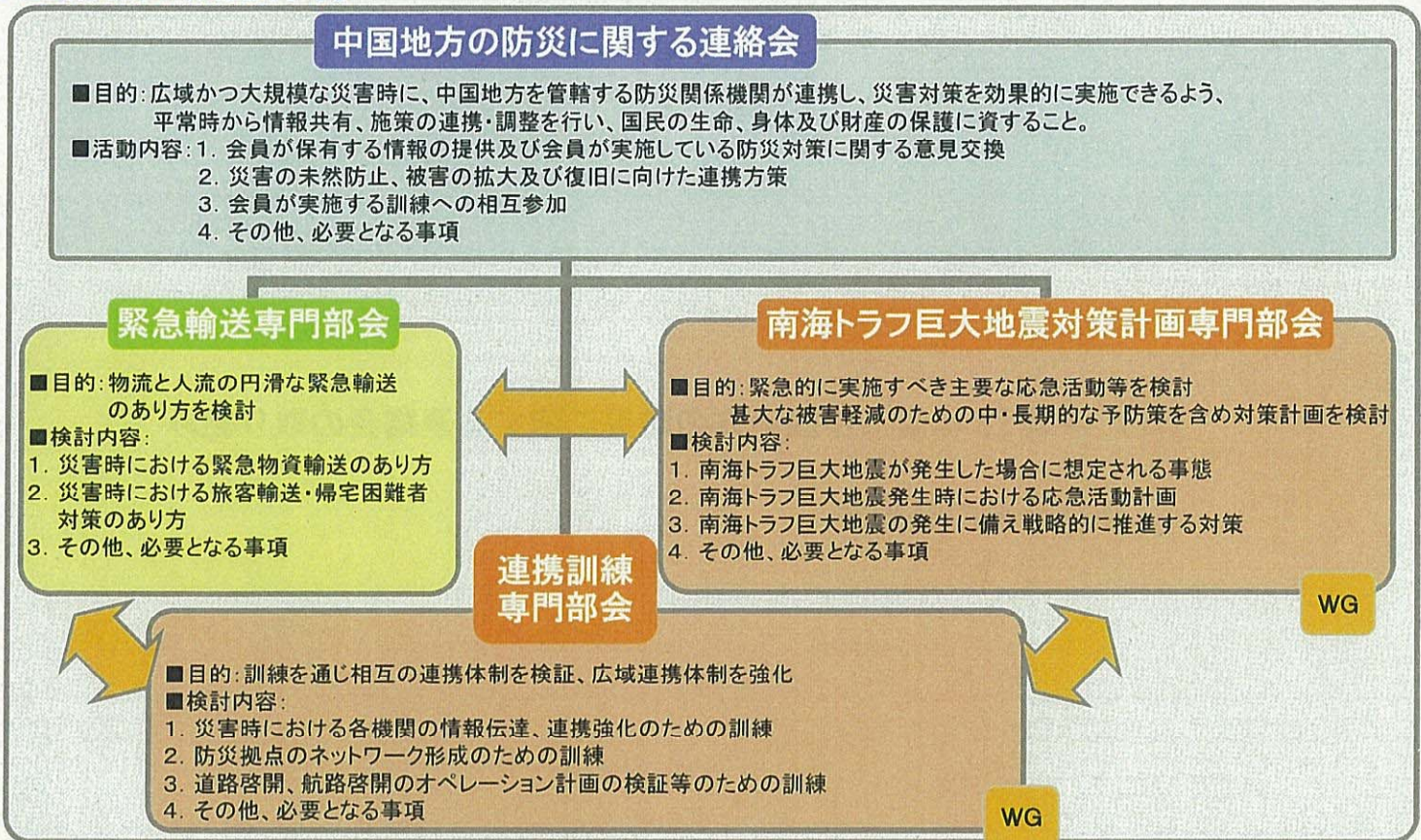


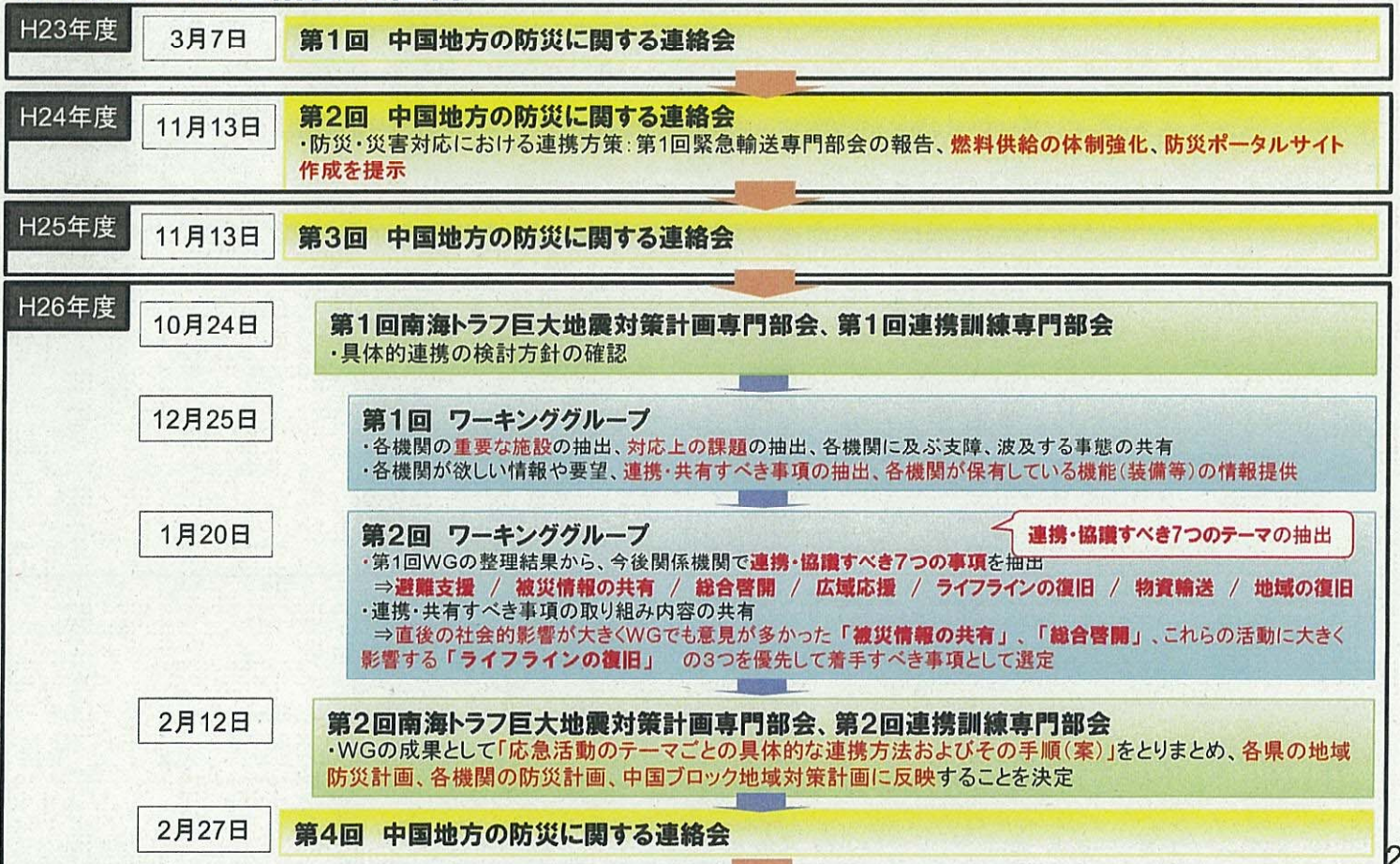
(5) 平成 28 年度 中国地方の防災に関する連絡会の取り組み
及び今後の進め方

◇連絡会の検討体制



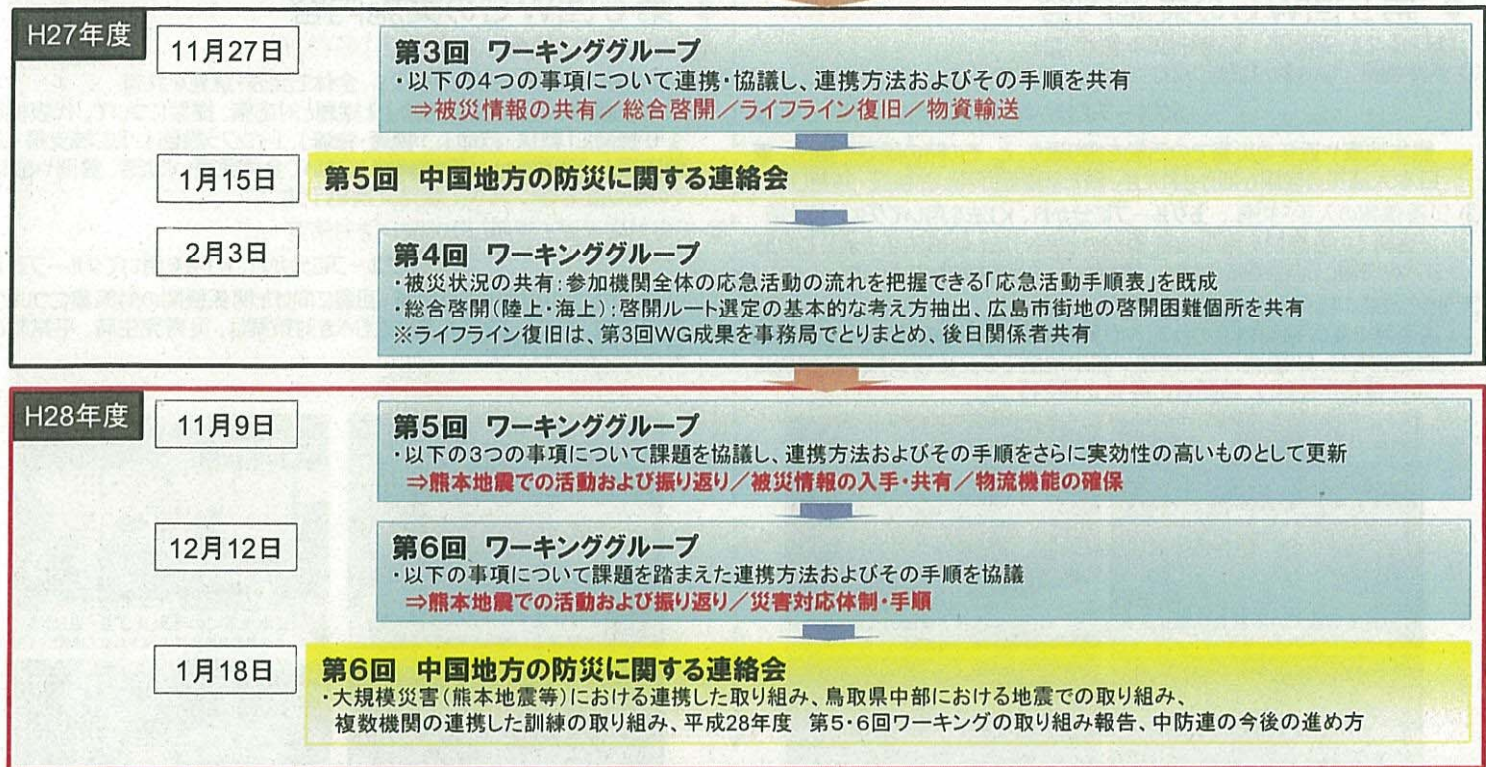
1

◇これまでの連絡会の経緯



2

◇これまでの連絡会の経緯



3

◇平成28年度の取り組み

H26年度： 第1回・第2回WGで7テーマを抽出、具体的な連携方法・手順(案)を取りまとめ、各防災計画に反映することを想定

災害情報の入手・共有

総合啓開

ライフライン復旧

広域応援

避難支援

地域の復旧

物資輸送

H27年度： 第3回・第4回WGで4テーマについて検討

■時系列活動内容を整理
・災害時応急活動の抽出
・活動時期の検討
⇒とりまとめ

■広島市をモデルケースに検討
・啓開時の重要項目整理
⇒被害大、防災拠点、病院・物資輸送拠点
・啓開エリアの重要度検討
⇒優先エリア：県庁、市役所、宇品港、大学病院等
・重要エリア到達を目標とした啓開ルート検討
⇒ルート選定の基本的考え方を抽出、啓開困難箇所を把握
⇒とりまとめ

■広島市をモデルケースとした留意事項を整理
・広島市における被害想定を共有
・復旧方針の共有
・連携の可能性
⇒とりまとめ

■緊急物資輸送の重要項目の具体を協議

平成28年4月熊本地震 14日、16日に震度7の地震発生

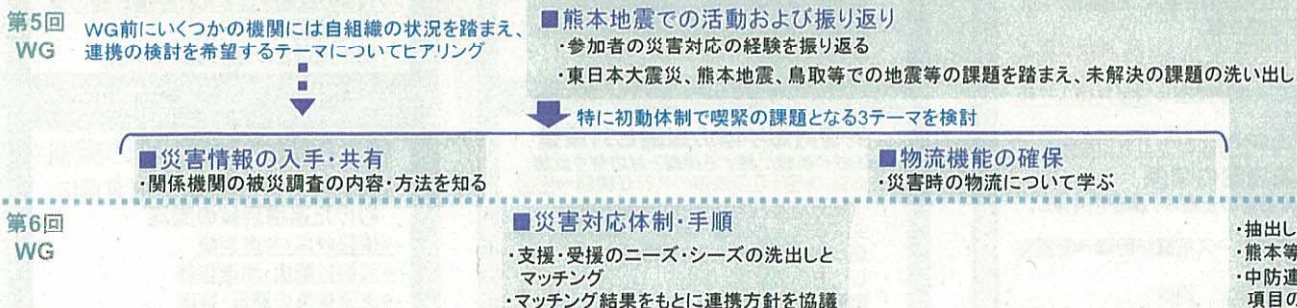
※東日本大震災後の大規模地震

震度7の地震が連続して発生。益城町や西原村、阿蘇地域等で大きな被害が出た。
⇒東日本大震災の教訓が活かされたか、未解決もしくは新たな課題があるか。

※平成28年10月21日には鳥取でも震度6弱の地震が発生

ここで、一度、これまでの検討を踏まえて中防連での連携を図り、大規模災害に備える

H28年度： 熊本地震を受けて、東日本大震災以降の教訓が活かされているか、さらなる課題がないかの確認・議論



H29年度： 熊本地震の活動の振り返りで洗い出された課題について、引き続き連携方法を模索

4

◇平成28年度の取り組み

◆ 第5回WGの実施内容

(H28.11.9開催、35機関64名参加)

① 熊本地震での活動及び振り返り：

6グループに分かれ、KJ法を用いてグループ討議

熊本地震や近年の災害での活動を振り返り、と、その時の課題を抽出、東日本大震災の教訓が活かされたか、新たな課題が無いか検証・共有した。

② 災害情報の入手・共有：6グループに分かれ、KJ法を用いてグループ討議

災害時での各機関の施設被害情報の収集方法、他機関等を通じて把握すべき情報とその手段を抽出し、課題や工夫点を検討・共有した。

③ 物流機能の確保：全体で発表・意見を共有

災害時の支援物資物流の仕組みや東日本大震災後の物流システム構築の取組内容、中国地方での課題や熊本地震での支援物資輸送の状況について情報を共有し、課題等の意見交換を行った。



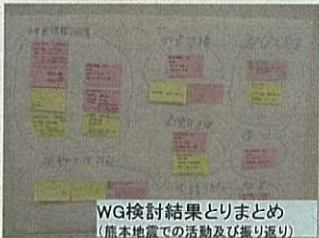
熊本地震での活動及び振り返り
(フリーディスカッション状況)



被災情報の入手・共有
(発表状況)



意見交換(全体)



WG検討結果とりまとめ
(熊本地震での活動及び振り返り)

◆ 第6回WGの実施内容

(H28.12.12開催、33機関51名参加)

① 熊本地震での活動及び振り返り：全体で発表・意見を共有

熊本地震での活動内容・活動上と課題と対応策、提案について、代表機関10機関に「救援・救命」、「物資・物流」、「インフラ設備」、「広域支援・避難支援」、「廃棄物」、「連携訓練」について全体発表いただき、質問や感想、その他の提案等について、意見交換を行った。

② 災害対応手順の課題と取り組むべき対策案

6グループに分かれ、KJ法を用いてグループ討議

災害対応上の課題やその軽減・回避に向けた関係機関の対策案について意見交換 (WG) を行い、取り組むべき対策案は、災害発生時、平常時の視点から議論を行った。



熊本地震での活動及び振り返り
(発表状況:国土地理院・中国地方整備局)



熊本地震での活動及び振り返り
(全体意見交換状況:広島市危機管理課)



災害対応体制・手順(意見交換)



災害対応体制・手順(グループ発表)

5

中国地方の防災に関する連絡会の取り組み報告及び今後の進め方

◆WGの結果とりまとめ

- WGの発表や議論から得られた課題や提案の内容を踏まえ、「大規模災害時における具体的な連携方策」として、以下の3点を検討・推進
- ①連携 (被害情報の共有)：被災情報の共有に向けたツールや様式の共有、情報共有体制 (ルール) の検討
- ②災害時の体制確保：課題を踏まえた計画の策定、見直し、共有や関係機関との連携体制の確保 (協定締結等)
- ③複数機関の連携訓練の実施：関係機関が連携した対応を円滑に実施するための連携訓練を実施

【第5回WG】(H28.11.9) 活動・課題 →提案(下線)

熊本地震での活動及び振り返り

◇熊本地震や近年の災害での参加者の活動、課題を把握

- ・ (情報共有) 広域的な被災状況を早期に正確に把握するための情報収集体制が課題⇒災害時を想定した情報共有フローの整理、情報伝達要領の検討、システム整備、関係機関との情報伝達訓練の実施
- ・ (対応体制) 熊本地震の対応全体の課題⇒BCP、BCMの再検討、整備、連絡体制、連携体制の強化をすべきである。
- ・ (物流) 輸送可能なルートや受入可能な集積所の確保・情報が不足

災害情報の入手・共有

◇災害時に入手する情報項目と手段、他機関から入手する情報項目を手段を把握

- ・ 情報共有ツールが異なる⇒災害時に関係機関が情報共有できる掲示板の整備検討
- ・ 正確・迅速な情報共有が課題⇒情報共有ルールの整備、様式の統一
- ・ 情報の一元化が課題⇒DiMAPSの活用

物流機能の確保

◇災害時の支援物資物流の仕組み、課題を共有し、課題等の意見交換

- ・ 避難所の支援物資のニーズ把握が困難⇒物資支援ニーズの把握
- ・ 物流専門家が不在⇒協定、訓練
- ・ プッシュ型・プル型のスムーズな移行⇒運用方法を関係機関間で調整

【第6回WG】(H28.12.12) 活動・課題 →提案(下線)

熊本地震での活動及び振り返り

◇熊本地震や近年の災害での参加者の活動、課題、提案を把握

- ・ (情報共有) ニーズ把握、情報提供のあり方(媒体、手段、時期、場所)の検討、災害情報の一元的な集約・共有
- ・ (対応体制) 受援計画の策定、訓練を踏まえた計画やマニュアルの改訂
- ・ (物流) 物流専門家のノウハウ活用

連携訓練

- ◇複数機関が連携した訓練の事例を紹介
- ・ 関係機関と「顔の見える関係」を構築するための総合防災訓練の実施
- ・ 訓練を踏まえた各種計画・マニュアル等の見直し

災害対応手順の課題と対策案

- ◇体制や手順に関する課題と対策案を協議
- ・ 道路の通行可否情報の共有が課題⇒地図情報による共有(DiMAPSの活用)
- ・ 支援機関との調整、協定、情報収集、発信に関する運用方法の検討
- ・ BCPの再整理、検討
- ・ 物資や人の滞留⇒空路(ヘリ)を活用
- ・ 人材不足⇒未経験者派遣による人材育成

WGの結果とりまとめ ◇課題→提案(下線)

連携(被害情報の共有)

- ◇情報共有体制の構築
- ◇被災情報の一元化
- ⇒被災情報の共有ルール・ツールの検討
- ⇒情報共有の様式の統一
- ⇒地図情報による共有

災害時の体制確保

- ◇初動体制の構築
- ◇発災後の支援体制の確保
- ⇒WGの課題を踏まえた各種計画の策定・見直し
- ⇒関係機関との連携協定の締結

複数機関の連携訓練の実施

- ◇災害対応の円滑化、人材育成にむけた連携訓練の実施
- ⇒情報収集・共有訓練
- ⇒資機材調達・輸送訓練
- ⇒支援要員の派遣・育成
- ⇒新たな物流輸送訓練

6

◇連携(被害情報の共有) 参考事例

- ▶ 課題：情報共有体制の構築、被災情報の一元化
- ▶ 提案：被災情報の共有ルール・ツールの検討、情報共有の様式の統一、地図情報による共有

■地図情報による共有

ODIMAPSIによる災害情報の共有



出典：水管理・国土保全局 防災課第20回防災技術研究会(都市行政の課題-河川行政の課題)国土交通省における防災行政について 主催(一社)日本建設技術協会、都大、宇都宮大 後援：国土交通省、平成28年1月14日 http://www.zenken.com/kawayasu/kyokai/127630/620_sml.pdf

■被災情報の共有ツール

ODIMAPSIによる災害情報の一元化



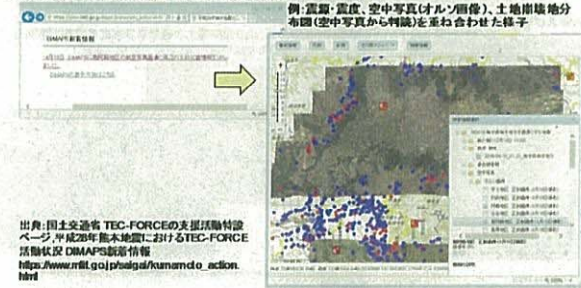
出典：国土交通省、統合災害情報システム(DIMAPS)リーフレット、<http://www.mlit.go.jp/saijag/dimaps/pdf/rdet.pdf>

ODIMAPSIを活用した広域連携防災訓練の様子



出典：平成28年度中部ブロック南海トフ地域防災対策推進協議会、広域連携防災訓練 平成28年8月28日(日) <http://www.gsl.go.jp/kyobu/1228ankai-kuseno.html>

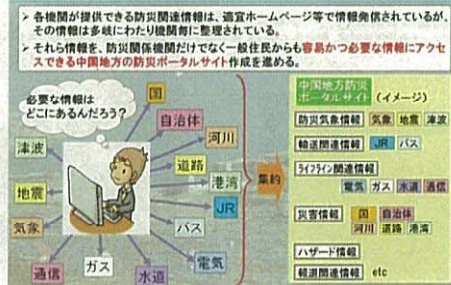
○熊本地震時におけるDIMAPSIによる災害情報の提供



出典：国土交通省、TEC-FORCEの支援活動情報ページ、平成28年熊本地震におけるTEC-FORCE活動状況 DIMAPSI活用情報 https://www.mlit.go.jp/saijag/kumamoto_action.html

○ポータルサイトによる各機関の公表する情報の一元化

◇災害対応に必要な情報とその提供



出典：第2回 中国地方の防災に関する連絡会平成24年11月13日、配布資料：資料-5 災害対応に必要な情報とその提供

◇災害時の体制確保 参考事例

- ▶ 課題：初動体制の構築、発災後の支援体制の確保
- ▶ 提案：WGの課題を踏まえた各種計画の策定・見直し、関係機関との連携協定の締結

■各種計画の策定・見直し

○セミナー、講演会、ワークショップの実施



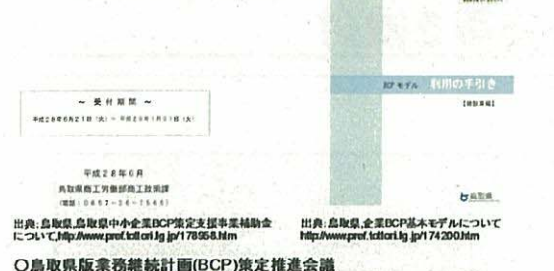
出典：鳥取県、事業継続計画(BCP) <http://www.pref.tokushima.jp/123006.htm>

○補助金を取り入れた策定取組の推進

平成28年度鳥取県中小企業BCP策定支援事業補助金について <http://www.pref.tokushima.jp/174200.htm>

○BCP基本モデルの策定・公開

出典：鳥取県、企業BCP基本モデルについて <http://www.pref.tokushima.jp/174200.htm>



出典：鳥取県、鳥取県版事業継続計画(BCP)策定推進会議、平成24年4月24日、<http://www.pref.tokushima.jp/174373.htm#item655205>

■関係機関との連携協定の締結

○災害時における物資の供給に関する協定

出典：京市、<http://www.city.kyoto.jp/kyozai/16/7b0516.html>



出典：京市、<http://www.city.kyoto.jp/kyozai/16/7b0516.html>

○災害時における緊急車両等の応急整備等の支援協力に関する協定

出典：岡山県、<http://www.pref.okayama.jp/phil/100/453616.html>



出典：岡山県、<http://www.pref.okayama.jp/phil/100/453616.html>

○大規模災害発生時に公共施設の応急工事等に関する協定

出典：三原市、<http://www.city.mi.hara.nagasaki.jp/ta/ma/yacr/photo2015-05.html>



出典：三原市、<http://www.city.mi.hara.nagasaki.jp/ta/ma/yacr/photo2015-05.html>

○災害時における緊急輸送の協力に関する協定

出典：倉吉市、<http://www.city.kawayasu-hiroshima.jp/kyosai/6/27>



出典：倉吉市、<http://www.city.kawayasu-hiroshima.jp/kyosai/6/27>

○大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定

出典：米子市、<http://www.city.yonagoi.jp/17591.htm>



出典：米子市、<http://www.city.yonagoi.jp/17591.htm>

○災害時における支援に関する協定

出典：鳥取県、<http://www.pref.tokushima.jp/admin/sasaku/kyosai/kyosai/20004.html>



出典：鳥取県、<http://www.pref.tokushima.jp/admin/sasaku/kyosai/kyosai/20004.html>

◇複数機関の連携訓練の実施 参考事例

- 課題：災害対応の円滑化、人材育成にむけた連携訓練の実施
- 提案：情報収集・共有訓練、資機材調達・輸送訓練、支援要員の派遣・育成、新たな物流輸送訓練

連携訓練の実施

○平成28年度 広島県総合防災訓練 他県の防災ヘリ等による緊急消防援助隊航空部隊の受援訓練を実施



(写真左) 出典：平成28年度本県航空隊活動状況、<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/217927.pdf>
(写真右) 出典：広島県、<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/bs/ichijubokkyo/281011.html>

○中国圏・四国圏における広域的な支援物資輸送訓練

中国圏に後方支援のための集積拠点を設置、四国圏に向けた円滑な支援物資輸送を実施



出典：国土交通省総合政策局物流政策課、http://www.mlit.go.jp/transport/press/akatsuki/02_h_000034.html

○とっとり防災フェスタ (左、中央) 県警と自衛隊が連携して負傷者を搬送 (右) 消防団自衛隊が連携し車内に閉じ込められた要救助者を救出



出典：陸上自衛隊 第八普通科連隊、<http://www.mof.go.jp/god/mae/13/kyonogofu/4/dorobousenetsu.html>

○高梁川総合水防演習 消防と岡山県警が連携、車内に閉じ込められた人を救出



出典：法口市、<http://www.city.yasuko.tokushima.jp/shohoku/mayor/hac/honogoku/201605/index.html>

○平成28年度広島県石油コンビナート等総合防災訓練

地域による石油コンビナートの被災を想定、独自第13救護団、日本赤十字社が連携し、野外用手術システムや救護用エアドームを活用した救護及び緊急輸送等を実施



(写真左) 出典：日本赤十字社、<http://www.hiroshima.jrc.or.jp/8901> (写真中央、右) 出典：陸上自衛隊第13旅団、<http://www.mod.go.jp/god/mae/13/news/20161025kun.html>

○美祿市・下関市・長門市合同防災圏上訓練

市職員や警察官、山口県宇部土木建築事業所美祿支所の職員らがそれぞれの機関の役割や市との応援協力体制を確認



出典：美祿市、<http://www2.city.mino.lg.jp/www/contents/1453894648975/index.html>

H29年度以降の中防連の進め方



南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応として
専門部会・WGにより、情報共有、施策の連携・調整を行い、
今後の防災対策のあり方等を検討

必要に応じて各計画に反映



<参考事例>南海トラフ地震に対する 四国地方の取り組み

南海トラフ地震等の巨大地震に対し、四国が一体となって取り組むべき施策や、各機関が重点的に取り組むべき施策（7施策208項目）等について、記載されている。毎年各項目の進捗をリーダーを決めて把握し、次年度の重点施策を検討、公表するなど、PDCAサイクルを用いた計画の運用を実践している。

発災前	<p>【施策1】ハザードマップの見直し・充実並びに効果的な施設整備 新たな想定外力によるシミュレーションや過去の歴史的な地震・被災記録等を踏まえたハザードマップの見直し・充実を図るとともに、被害の最小化を目指すため、効果的な施設整備を進める。 【施策2】迅速・確実に避難するために、住民等への徹底した意識改革と確実な情報伝達</p>
発災直後 (初動対応・ 応急対策)	<p>【施策3】迅速な広域防災体制の確立 【施策4】迅速・確実な初動対応・応急対策 被害状況の早期把握並びに関係機関における啓開・復旧オペレーション計画の策定及びその計画を迅速・確実に実施するため、より実践的な訓練を実施する。 【施策5】迅速・確実な救援・救護、救出活動 被災状況の早期把握並びに関係機関における救援・救護、救出活動体制の構築、及びその活動を迅速・確実に実施するために、より実践的な訓練を実施する。</p>
発災後	【施策6】迅速な被災者支援並びに地域の安全
発災後 (復興)	【施策7】円滑な地域の復興

「災害に強いまちづくりガイドライン」を策定

四国地方整備局は、国県市町の防災関係者等で構成する「災害に強いまちづくり検討会」により、地方公共団体が災害に強いまちづくりを計画・実施する上において、参考事項となる「災害に強いまちづくりガイドライン」を策定した。（策定H24年1月、最新改訂H28年3月）また、5つの地域条件に応じた、地域モデル（計14市町）を設定し、モデル地区の視察やまちづくり計画を行っている



意見交換 (H27.8阿南市)



現地視察 (H27.11中土佐町)

防災拠点となる官庁施設の整備の推進

高松サポート合同庁舎は、高松市内に点在する21の国の機関を集約し行政効率の向上を図るとともに、南海トラフ巨大地震等に備えた広域的な防災拠点としての機能を有する施設である。停電時の電力確保、断水時の水源確保、下水道遮断対策、緊急活動対策、安全対策等が実施されている。
I期は平成18年12月に運用開始、II期は平成29年度中に完成予定である。



完成予想透視図
左：I期、右：II期



災害対策本部
運用イメージ

関係機関の道路啓開に必要な行動計画「四国広域道路啓開計画」を策定

南海トラフ地震の大規模災害時の道路啓開について、より具体的な計画を策定するために、22の関係機関からなる「四国道路啓開等協議会」を組織し内閣府の被害想定のもと、瀬戸内側から太平洋側へ向けて効率的かつ迅速な道路啓開を実施することを目的に、道路啓開の目標、対象道路、具体的な実施方法に加え、事前に備えておくべき事項等をまとめた「四国広域道路啓開計画」を平成28年3月に策定した。



被害想定



広域道路啓開のための「進出ルート」

防災関係機関が連携した、大規模災害を踏まえた広域的かつ、より実践的な訓練を実施

南海トラフ地震による大規模災害を想定した「図上演習」を高松サポート合同庁舎13階災害対策室にて実施 (H27.5.20 参加者；31機関約100名)
高知県内において、南海トラフ地震などの大規模災害を想定した「道路啓開訓練(実働訓練)」を実施 (H27.11.19 参加者；11機関111名)
高知新港にて高知県総合防災訓練の実施 (H27.6.7) 等多数



四国南海トラフ地震対策戦略会議
図上演習



高知県総合防災訓練

主催	主催名	実施時期	訓練の想定	被害想定	訓練の概要	ポイント	参加機関	参加人数	新規OR	資料提供
地方支分 部局関係	広島湾域排油等 防除協議会連合 会(第六管区海上 保安本部)	平成28年12月7日	事故等による海上への大量油 流出	広範囲な油の流出、沿岸部等 への漂着等	・対型机上訓練 グループディスカッション		【広島湾域排油等防除協議会連合会】 ○国の機関(海上保安庁、中国地方整備局、海上自衛隊) ○地方公共団体(県、市、警察、消防等) ○関係団体等	60名	継続	第六管区海上 保安本部
地方公共 団体	岡山県	平成28年5月25日	台風接近に伴う、風水害発生 に対する県市町村及び防災団 体連携が連携した災害対策本 部運営訓練を実施。	県内の広い範囲で、台風接近 に伴い、河川氾濫・土砂崩れ 等が起き、家屋被害や人的傷 害が発生する状況。	・タイムライン形式の防災行動計画の作成・修正及びそれに 基づく対応 ・防災情報体制の段階的強化 ・情報の収集・伝達(県総合防災情報システムの活用) ・災害対策本部運営、特に、関連会議の開催 ・避難の動き等 ・避難所の開設等	岡山県、岡山県警察、県内市町村、消防関係機関、岡山地方 気象台、自衛隊(第13特科隊、岡山地方協力本部)、岡山 河川事務所、岡山国道事務所、水島海上保安部、日本 赤十字社岡山県支部、中国電力株式会社岡山支社、西日本電 信電話株式会社岡山支店、 西日本旅客鉄道株式会社岡山支社、岡山県隊友会	約650名	継続	岡山県	
山口県 訓練実行委員会、長 門市、阿武町)	山口県総合防災 訓練実行委員会、長 門市、阿武町)	平成28年5月29日	○大規模土砂災害の発生 ○日本海沖を震源とする巨 大地震の発生	○土砂災害警戒情報、記録的 短時間大雨情報等が発せさ れ、大規模な土砂災害が発生 ○日本海沖を震源とする巨大 地震が発生し、大津波警報が 発表されるところにも津波が到 達	○災害対策本部設置・運営訓練 ○救助・救急機関等実働訓練 ○住民参加型訓練 ○展示・体験コーナー 等	地域住民、消防、警察、自衛隊、海上保安庁、医療機関、 県、市町等75機関	約1,670 人	継続	山口県	
岡山市	平成28年度 岡山市水防訓練	平成28年6月5日	風水害の想定	河川はん濫の恐れ、及び 土砂災害の恐れ	○消防局ヘリコプターによる画像電送訓練及び水面からの救 出訓練 ○消防無線、防災行政無線による通信訓練 ○区役所職員による現地ハートルール訓練 ○区役所職員による資材搬送訓練 ○市災害対策本部と区本部における連携訓練 ○職員及び消防団員による水防工法の習得訓練 ○土砂災害からの避難訓練	○岡山市 市長以下200名 ○消防団 団長以下110名 ○地域住民 約40名	約350名	継続	岡山市	
広島市	平成28年度広島 市総合防災訓練	平成28年8月30日	豪雨による土砂災害及び河川 氾濫災害	○安佐北区白木町大字三田に おいて、土砂崩れにより住家 被害約100棟、人的被害(閉じ 込め・生埋め)多数発生 ○安佐北区防留室において、 三條川の氾濫により浸水した 地域で住民が取り残されてい る。	○災害対策本部の運営手順を確認する。 ○多数の消防関係機関が参加する訓練を実施し、防災関係機 関相互の連携の強化を図る。 ○実践的な訓練を実施し、救助など災害応急対応能力の向上 を図る。	中国地方整備局(太田川河川事務所)、広島海上保安部、陸 上自衛隊 広島県警本部、日本赤十字社広島県支 部、西日本電信電話(中国電力) 株式会社、広島 ガス株式会社、広島市医師会、広島市消防団連合会、 海上自衛隊 第六管区海上保安本部、中国管区警察局、東広 島市、広島地区建設業連立救済対策協議会	約240人	継続	広島市	
消防・ 警察・ 医療関係	中国管区警察 局	平成28年11月17日	鳥取県米子市を震源とする震 度7の地震が発生し、県下全 域でビル・家屋が倒壊。ま た、前日までの豪雨により土 砂災害も発生。	県内において多数の死者、行 方不明者が出ている状況	○映像伝送訓練 ○被災情報収集訓練 ○現地指揮所、合同調整所の設置・運営訓練 ○救出救助及び避難訓練 ○検視及びび身元確認訓練	○中国、四国管区広域緊急援助隊 ○中国、四国管区緊急災害備前隊 ○中国、四国管区機動警察通信隊 ○鳥取県警察航空隊 ○陸上自衛隊第8普通科連隊 ○鳥取県西部広域行政管理局消防局 ○鳥取DMAT ○鳥取大学医学部	約470人	継続	中国管区警察 局	
海上自衛隊	呉地方隊	平成28年6月3日	具体的想定なし。	具体的想定なし。	呉周辺港湾及び海域における、海上自衛隊輸送艦及び水 力中国電力 四国電力の発電機車等、陸自中型トラック等 の海上輸送検証	海上自衛隊呉地方隊、陸上自衛隊、中国電力、四 国電力	約250名	新規	呉地方隊	
呉地方隊	呉地方隊	平成28年10月31日	具体的想定なし。	具体的想定なし。	宮崎県日向市伊勢ヶ浜における、海上自衛隊輸送艦及び水 力中国電力 四国電力の発電機車等の海上 輸送及び砂浜での上陸検証	海上自衛隊呉地方隊、中国電力、九州電力	約200名	新規	呉地方隊	
呉地方隊	呉地方隊	平成28年11月21日	具体的想定なし。	具体的想定なし。	宮崎県日向市伊勢ヶ浜における、海上自衛隊輸送艦及び水 力中国電力 四国電力の発電機車等の海上輸送及び砂 浜での上陸検証	海上自衛隊呉地方隊、関西電力、四国電力(見学)、東京電 力(見学)	約200名	新規	呉地方隊	

主催機関	主催者名	実施時期	訓練の想定	被害想定	訓練の概要	参加機関	参加人数	新規OR継続	資料提供機関名
JR	西日本旅客鉄道株式会社 岡山県、西日本旅客鉄道株式会社 岡山県、西日本旅客鉄道株式会社 岡山県、西日本旅客鉄道株式会社	平成28年10月26日 平成28年11月28日	鉄道と道路が交差・平行する箇所における災害時の連絡体制等の確認 南海トラフ地震発生	津山線(安芸高松駅～忠海駅間)走行中の営業列車が緊急地震速報を受信し停車した。南海トラフ地震が発生し震度6強、マグニチュード9.1、3.2mの津波が発生	○連絡体制の確立 ○早急な現場到着・対応 呉線(安芸高松駅～忠海駅間)走行中の営業列車が、緊急地震速報を受信し緊急停止した。その際、車内のお客様を降車させ線路内を最寄りの踏切まで歩いて安全な場所まで避難誘導する。 ①緊急地震速報を受信時の取扱い ②お客様の降車手配及び避難場所までの避難誘導の実施 ③自治体関係者との連携強化 ④安全確認システムによる安全確認訓練の実施	西日本旅客鉄道株式会社 岡山県 岡山市	約80名	継続	西日本旅客鉄道株式会社 岡山県 岡山県
	西日本旅客鉄道株式会社 徳山地域鉄道部	平成28年11月5日	南海トラフ地震発生	山陽線(神代駅～大島駅間)走行中の営業列車が、緊急地震速報を受信し停車した。南海トラフ地震が発生し震度6弱、3.8mの津波が発生	山陽線(神代駅～大島駅間)走行中の営業列車が、緊急地震速報を受信し停車した。南海トラフ地震が発生し震度6弱、3.8mの津波が発生	徳山地域鉄道部 徳山地域鉄道部	約130名	新規	西日本旅客鉄道株式会社 徳山地域鉄道部
NEXCO	西日本高速道路(株) 松江高速道路事務所 米子高速道路事務所 西日本高速道路(株) 米子高速道路(株) 米子高速道路(株)	平成28年9月14日	鳥根県東部を震源とした直下型地震を想定	山陰道では最大で震度6強の震度を計測。山陰道松江IC、安来道路安来IC～東出雲ICの上下線で通行止め。	・道路空間訓練(土のう積みによる段差修正、緊急車両通行) ・ポットホール緊急補修訓練	鳥根県警察本部 交通部 高速道路交通安全課 鳥取県警察本部 交通部 高速道路交通安全課 松江市消防本部 NEXCO西日本 中国支社 松江高速道路事務所 NEXCO西日本 中国支社 米子高速道路事務所 NEXCO西日本 パトロール中国 NEXCO西日本 メンテナンス中国	190名		西日本高速道路(株) 中国支社
	西日本高速道路(株) 米子高速道路事務所	平成28年8月9日	多重事故を想定	米子道江府IC～溝口IC間の対面通行区間の下り線、合川・赤谷間トンネル間の明かり部において発生した関係車両4台による多重事故。乗客の居眠りにより対向車線にはみ出しが発生した大型貨物車の低速通過しようとした高速バスに後続の大型貨物車が追突した。高速バスは乗員乗客が車内に閉じ込められ、乗客多数発生。横断した大型貨物車は積荷(寝具)の散乱と燃料(軽油)が漏出した。	災害図上訓練	警察(中国管区、鳥取県) 消防(鳥取県西部) 国土交通省日野川出張所 日本交通(株) 日本自動車連盟鳥取支部・鳥根支部 NEXCO(支社、米子) NEXCOメソ(支社、米子) NEXCOパト(中国側)	94名		西日本高速道路(株) 中国支社
	西日本高速道路(株) 津山高速道路事務所	平成28年9月7日	鳥取県西部を震源とする震度5強の地震が発生し、新見ICで計測震度4.9を記録。	この地震により新見IC車の中環道下り線の盛土が崩壊し、土砂が平行する東道に流れ込んで東道が通行不可になった。これにより中国道下り線の路面が陥没し、関係車両4台が巻き込まれる交通事故が発生した。県道では土砂流入のみで、巻き込まれ等の被害は無し。	災害図上訓練	警察(中国管区、岡山県、岡山県新見) 消防(新見市、真庭市) 岡山県備前中県民局 新見市、NEXCO(支社、津山) NEXCOメソ(支社、中国側) NEXCOパト(中国側)	65名		西日本高速道路(株) 中国支社

主催機関	主催名	実施時期	訓練の想定	被害想定	訓練の概要	ポイント	参加機関	参加人数	新規OR継続	資料提供機関名
MEXCO	西日本高速道路(株)三次高速道路事務所	平成28年9月15日	多重事故を想定	中国道庄原～重城間の中山トンネル内上り線にて発生した関係車両4台による多重事故。トンネル内で故障停止した高速バスを回避しようとして、後続の大型貨物車がトンネル壁に衝突・構造物、積荷の本材が路面に散乱し、さらに高速バスに大型貨物車が追突、後続の普通乗用車もトンネル壁に衝突。高速バスでは乗務者が多数発生し、追突した大型貨物車の乗員が車内閉じ込め、普通乗用車からは燃料(軽油)が流出。	災害図上訓練		警察(中国管区、島根県) 消防(備北地区) 三次貨物運送(有) NEXCO(支社、三次) MEXCOメンテ中国(株) MEXCOハト中国(株)	62名		西日本高速道路(株)中国支社
	西日本高速道路(株)松江高速道路事務所	平成28年9月27日	異常降雨による路面災害を想定	山陰道松江五道～赤道間の下り線切土のり面が崩壊し、走行中の高速バスが巻き込まれて乗務者多数発生し、乗員乗客は車内に閉じ込められた。上り線の滞留車両後尾でも普通乗用車2台による追突事故が発生。	災害図上訓練		警察(中国管区、山口県) 消防(松江市I、雲南) 国土交通省松江国道事務所 松江市立病院 雲南市立病院 一畑バス(株) 日本自動車運送器島根支部 (有)丸和運輸 NEXCO(支社、松江) MEXCOメンテ中国(株) MEXCOハト中国(株)	84名		西日本高速道路(株)中国支社
	西日本高速道路(株)千代田高速道路事務所	平成28年10月11日	多重事故を想定	江津道路浜田東～江津西溪の上り線暫定2車線のトンネル内で、観光バス2台と普通乗用車1台による多重事故が発生。バス乗員乗客に多数の乗務者が発生。また、前に挟まれた普通乗用車でも、乗務者と車両火災が発生、追突された観光バスからオイル漏れ。	災害図上訓練		警察(中国管区、島根県) 消防(浜田市、江津邑智) 江津総合病院 NEXCO(支社、千代田) MEXCOメンテ中国(株) MEXCOハト中国(株)	76名		西日本高速道路(株)中国支社
	西日本高速道路(株)広島高速道路事務所	平成28年10月20日	多重事故を想定	山陽道志和～西条間上り線で、強雨路面でスリップしたトレーラーが構造物、燃料(軽油)が流出。さらに後続のリムジンバス含む車両4台の追突事故が発生し、車内閉じ込めと多数の乗務者が発生。この事故による滞留車両が後方のトンネル内に達し、後尾で大型観光バスと大型貨物車による追突事故が発生。追突した大型貨物車からは出火。また、大型観光バスでは火災による乗務者が多数発生。	災害図上訓練		警察(中国管区、広島県) 消防(東広島市) 東広島医療センター 善徳バス(株) 広島電鉄(株) (株)KCM物流 (有)中本クレール NEXCO(支社、広島) MEXCOメンテ中国(株) MEXCOハト中国(株)	123名		西日本高速道路(株)中国支社

主催機関	主催名	訓練名	実施時期	訓練の想定	被害想定	訓練の概要	ポイント	参加機関	参加人数	新規DR継続	提供機関名
NECCO	西日本高速道路(株)山口高速道路事務所	DIG山口	平成28年11月9日	山口県中部を震源とする震度5強の地震が発生、小郡IC地震計で計測震度4.8を記録。	この地震により、小郡ICランプ内での山道が崩壊し、土砂が別ランプとランプ間に入り、ランプ上で回旋し、つととした大型貨物車が横転し、燃料(軽油)流出。これに起因して4台のランプでも多重事故が発生。互らなど5台が関係する多重事故が発生し、観光バスでは車内閉じ込めと多数乗客が発生。	災害図上訓練		警察(中国管区、山口県) 消防(山口市、美祿市) 山口県防府土木建築事務所山口支所 山口県立総合医療センター NEXCO(支社、山口) NEXCOメンテ中国(株) NEXCOバト中国(株)	85名		西日本高速道路(株)中国支社
	西日本高速道路(株)福山高速道路事務所	DIG福山	平成28年11月21日	広島県中部を震源とする震度5強の地震が発生し、三原久井IC地震計で計測震度4.8を記録。	この地震により、山腹道三原久井IC～尾道IC間の八幡橋A1橋台間のジョイントが破損し、上下線とも20cmの段差が発生。これより上がった高速バスが上り線橋面で横転し、車内閉じ込めと乗客多数、及び燃料(軽油)漏れが発生。後続の大型貨物車も燃費異常と乗客多数に巻き込まれ、乗客多数が乗客を巻き込んで落下寸前になった。	災害図上訓練		警察(中国管区、広島県) 消防(三原市) 広島県東部建設事務所三原支所 興生総合病院 三原赤十字病院 NEXCO(支社、福山) NEXCOメンテ中国(株) NEXCOバト中国(株)	64名		西日本高速道路(株)中国支社
通信関係	KDDI広島テクニカルセンター	可搬基地局の空輸訓練	平成28年3月2日	○東南海トラフ地震	○通信途絶地域への道路封鎖	○可搬型基地局をヘリコプターへ搭載し空輸する		○自衛隊西部方面隊 ONTT西日本 ONTTドコモ OKDDI ソフトバンク		継続	KDDI広島テクニカルセンター
	KDDI広島テクニカルセンター	事業者間伝送路相互バックアップ訓練	平成28年11月8日	○東南海トラフ地震	○岡山～高松間、大板～高松間のKDDI伝送路が全断となり、高松IC孤立	○事業者間連携による伝送路迂回による執済 ○各社連携体制 ○救済措置依頼の連絡対応 ○事業者間の光ケーブルの線路ロス測定		○KDDI ○エネルギー・コミュニケーションズ ○Sinet	10名	継続	KDDI広島テクニカルセンター
	KDDI広島テクニカルセンター	事業者間伝送路相互バックアップ訓練	平成28年12月2日	○東南海トラフ地震	○広島～高松間、大板～高松間のKDDI伝送路が全断となり、高松IC孤立	○事業者間連携による伝送路迂回による執済 ○各社連携体制 ○救済措置依頼の連絡対応 ○事業者間の光ケーブルの線路ロス測定 ○伝送路迂回手順の検証		○KDDI ○ソフトバンク	8名	継続	KDDI広島テクニカルセンター
	KDDI広島テクニカルセンター	事業者間伝送路相互バックアップ訓練	平成28年12月8日	○震源断層地震	○広島～福岡間のKDDI伝送路が多数断となり、通信サービスに影響が発生	○事業者間連携による伝送路迂回による執済 ○各社連携体制 ○救済措置依頼の連絡対応 ○事業者間の光ケーブルの線路ロス測定		○KDDI ○エネルギー・コミュニケーションズ ○Sinet	10名	継続	KDDI広島テクニカルセンター